施工説明書

INAX

システムマーベリイナ
マーベリイナカウンター
手洗アークタイプ

- ●カウンター
  MB-350A
  MB-351A
- ●ベースキャビネット
  SAN-752A
  SAN-602A
  SAN-752AFL(R)
  SAN-602AFL(R)
- ●サイドベースキャビネット
  SAH-302AL(R)
- ●カウンター下収納
  SAP-752A
  SAP-902A
- ●エチケットキャビネット
  SAH-362AM
  SAH-1052AM
- ●サイドフィラー
  SAF-5AB

施工される前に

●施工に際しては、必ずこの施工説明書に従い正しく施工してください。
※この施工説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますので十分ご注意ください。
※水栓金具、電気温水器、ミドルキャビネット、アッパーキャビネット、フロントパネル、マーベリイナシェルフ、化粧鏡、照明については、それぞれ付属の施工説明書に従い正しく施工してください。
●「保証書（取扱説明書裏表紙）」は貴店名、取付日を忘れずに記入の上、必ずお客様にお渡しください。
●施工段階での欠陥工事は、製造物責任法に基づき、二次責任が問われる場合がありますことを十分にご認識いただき、お客さまが安全で快適にご使用できるようご協力ください。
●付属部品の内容と数量があっていることを確認してください。

■付属部品

カウンター

品番	MB-350A　MB-351A
施工説明書　取扱説明書（お手入読本等）	各1部

ベースキャビネット

品番	SAN-752A	SAN-602A	SAN-752AFL(R)	SAN-602AFL(R)
カウンター固定用ねじ（トラスφ 4.0×25mm）	4本			
壁固定用ねじ（トラスφ 4.0×50mm）	2本			
取っ手	2個		2個	
取っ手取付ねじ（皿M4×22mm）	4本		2本	
ボウルカバー固定用ねじ（トラスφ 4.0×12mm）	2本			
ボウルカバー	1個			
温風暖房機固定用ねじ（トラスφ 4.0×12mm）	―		4本	
温風暖房機フレーム固定用ねじ（トラスφ 4.0×12mm）	―		7本	
クランプ用ねじ（トラスφ 4.0×12mm）	―		2本	
温風暖房機本体	―		1個	
温風暖房機用フレーム	―		1個	
クランプ	―		2個	

サイドベースキャビネット

品番	SAH-302AL(R)
カウンター固定用ねじ（トラスφ 4.0×25mm）	2本
壁固定用ねじ（トラスφ 4.0×50mm）	2本
取っ手取付ねじ（トラスM4.0×22mm）	4本
キャビネット連結用ねじ（トラスφ 4.0×25mm）	2本
取っ手	2個
棚板	1枚
棚受けダボ	4個

カウンター下収納

品番	SAH-1052AM	SAP-752A	SAP-902A
壁固定用ねじ（トラスφ 4.0×50mm）	4本		
組立用ねじ（皿φ 3.5×25mm）	4本		
固定金具用ねじ（トラスφ 4.0×12mm）	16本		
取っ手用ねじ（皿φ 3.5×12mm）	8本		
カウンター固定用ねじ（トラスφ 4.0×25mm）	4本		
天板	1枚		
架台	1台		
中仕切板	2枚		
棚板	1枚		
扉	2枚		
取っ手	2個		
固定金具	4個		
棚受けダボ	4個		
取っ手用スペーサー（B4C、G4C、K4C以外の場合）	2本		
両面テープ（B4C、G4C、K4C以外の場合）	2本		
すべり鋲	2個		
ワッシャー	6枚		

エチケットキャビネット

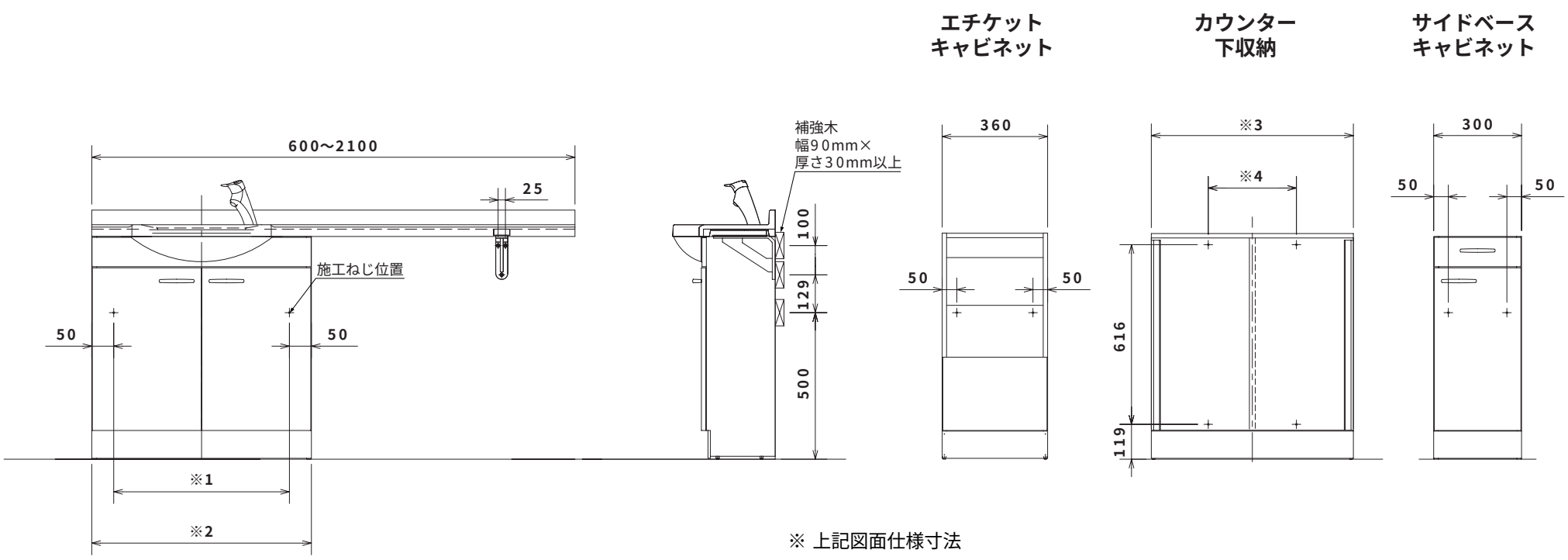
品番	SAH-1052AM	SAH-362AM
壁固定用ねじ（ワッシャー付き）	2本	
化粧キャップ	2個	
棚受けダボ	4個	
棚板	1枚	
紙巻器	1個	

サイドフィラー

品番	SAF-5AB
固定ねじ（トラスφ 4.0×30mm）	2本

■寸法図

キャビネットをねじ固定する位置に補強木が設置されていることを確認してください。



※ 上記図面仕様寸法

	ベースキャビネット		カウンター下収納		
品番	SAN-752A(FR)	SAN-602A(FR)	SAH-1052AM	SAP-752A	SAP-902A
※1寸法	650	500	―	―	―
※2寸法	750	600	―	―	―
※3寸法	―	―	540-690	600-750	751-900
※4寸法	―	―	301	361	511

株式会社INAX　お客さま相談センター　ダイアルイン　☎0562-61-0792
平日「9：00〜19：00」対応　土日・祝日「10：00〜18：00」対応（年末年始・夏期休暇は除く）

安全のために必ずお守りください

ここでは施工に際して守らないと人身事故や、家財の損害に結びつく注意事項をあげています。施工前にこの項目をよくお読みいただき、正しく施工してください。

用語および記号の説明

警告 ・・・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 ・・・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

・・・・・「注意しなさい！」(上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)

・・・・・「してはいけません！」(一般的な禁止記号です。)

・・・・・「分解してはいけません！」

・・・・・「指示通りにしなさい！」(一般的な行動指示記号です。)

アース工事

・・・・・この記号は、必ずして欲しい行為を示します。
●の中に具体的な指示内容が（左図の内容は、アースの工事を必ず行なうこと）が描かれています。

感電注意

・・・・・この図記号は、警告（注意を含む）を促す事項を示します。
△の中に具体的な警告事項（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⚠警告

- **修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。**
- **※ケガや故障が生じる恐れがあります。**
- **ストーブやヒーターなど熱を発生するものの近くに設置しないでください。**
- **※変色や変形、火災をおこす恐れがあります。**
- **設置工事説明書をよく読み、正しく確実に工事してください。**
- **※不備があった場合、感電や火災・けがなどの原因となります。**
- **定格15A以上の回路又はコンセントを単独で使用してください。**
- **※他の器具と併用すると、配線や配線器具などが異常発熱して発火することがあります。**
- **スプレー缶等や燃えやすいものが置いてある場所には設置しないでください。**
- **※爆発や火災の原因になります。**
- **アース工事を行ってください。**
- **※アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。（電気工事業者による第３種設置工事が必要です。）**

⚠注意

- **この説明書に記載されている以外の壁仕様（ALC壁等）の場合はキャビネットの取付けをしないでください。**
- **※キャビネットの取付強度が保てず落下する恐れがあります。必ず壁の施工のやり直しを行ってください。**
- **スライド蝶番の調節後は必ず、Aねじ、Cねじ、取付ねじが固く締め付けられていることを確認してください。**
- **※締付けが不足しますと蝶番がゆるみ、扉の外れ、落下によりケガをする恐れがあります。**
- **温水を逆に配管しないでください。**
- **※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。**

⚠注意

- **電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。**
- **※感電やショートして発火することがあります。**
- **電源は必ず専用のコンセントからお取りください。また、コード類を束ねたまま使用しないでください。**
- **※発熱の恐れがあります。**
- **浴室内などの高温多湿な場所や水が浸る可能性がある床面には設置しないでください。**
- **※木部が水を含んで腐ったり、漏電や感電の恐れがあります。**
- **交流100V以外では使用しないでください。**
- **※火災や感電の原因となります。**

お願い

- **直射日光が当たる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。またスポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。**
- **※変色や変形の原因になります。**
- **不陸が5mm/2mを超える場合は施工しないでください。**
- **※不陸があるまま施工するとキャビネットがひずむ場合があります。**
- **洗面器表面は傷付きやすいので次の点について注意して施工してください。**
- **・キャビネットや工具などの固い物を洗面器上に落としたり、乗せてひきずったりしないでください。**
- **・洗面器上に乗らないでください。**
- **※洗面器にキズが付くと補修しても完全に元の状態には戻りません。**
- **酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類を使用して本体を拭かないでください。**
- **※変色や変形の恐れがあります。**

施工前の確認

1．給水、給湯の確認

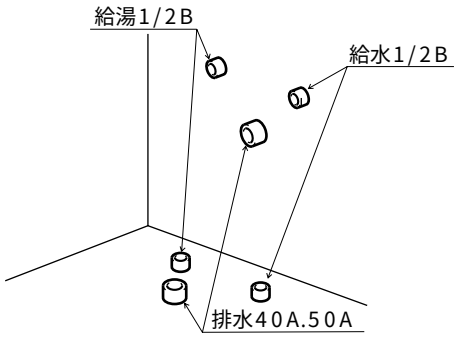
給水・給湯の条件、水栓金具の設置条件は水栓金具付属の施工説明書をご覧ください。

2．配管工事の確認

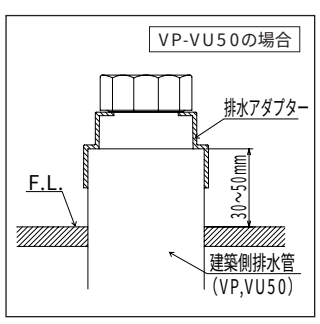
給水、給湯管および排水管が所定の位置に指定の給排水管仕様で取り出してあるか確認してください。

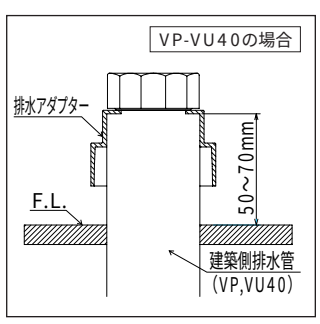
⚠注意

湯水を逆に配管しないでください。
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。



- 給水、給湯管の取出位置および仕様は設計用図面集をご参照ください。
- 床排水は下図のとおり取り出してください。





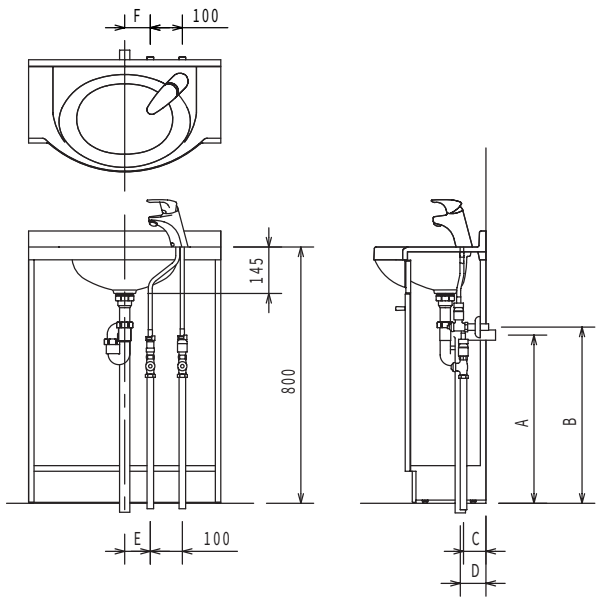
⚠注意

建築側排水（VP・VU管）は必ず指定の取出寸法範囲内で取り出してください。
※取出寸法が短いと、排水トラップと接続できず、漏水を引きおこす恐れがあります。

■システムマーベリイナ手洗アークタイプ（MB-350A）

システムマーベリイナ手洗アークタイプ（MB-350A）において床排水位置および壁排水位置を変更します。以下の図表を参照してください。

給排水位置
手洗アークタイプ



手洗器	手洗器 穴形状	手洗器 品番	A	B	C	D	E	F	床給水時の止水栓
GL-14	FC	LF-8340SC LF-8340SCN	525	550	70	80	120	120	LF-3SDK(480)-MB2
	AN	LF-503		500			170	170	LF-3SDK(480)-MB2(1P)
		FL-801		550					LF-3SD-MB2(1P)
		LF-210							
		LF-47							
		LF-E01-MB		360					LF-3SDK(360)-MB2(1P)
		AM-68(100V)-MB AM-68N(100V)-MB					140	140	

3．壁面工事の確認

〔壁材、下地材の確認〕

- キャビネットを取付可能な壁面は図に示す。
  乾式壁3種
  湿式壁2種　の以上5種類のみです。

〔補強木、仕上材の厚みの確認〕

- キャビネットの取付けには、乾式壁の場合、壁面に補強木（幅90mm×厚み30mm以上）が指定の位置（寸法図参照）に必ず必要です。あらかじめ建築施工の際に補強木を設けてください。直接、壁の仕上材にキャビネットの取付けはしないでください。
- 補強木の柱や間柱への取付部材（ねじ等）は、キャビネットの固定強度（乾式壁の図を参照）と同等以上になるように種類、数を選定してください。
- 乾式壁の場合は、補強木手前の仕上材は取付ねじを補強木に届かせるため、必ずトータルの厚みで12.5mm以下のものを用いてください。
- 湿式壁の場合は、AYボルトをコンクリートに届かせるため、モルタル、タイルの仕上げはトータルの厚みで20mm以下としてください。また、壁本体がコンクリートブロックの場合は、中空部をモルタル詰めにしてください。

〔壁の不陸について〕

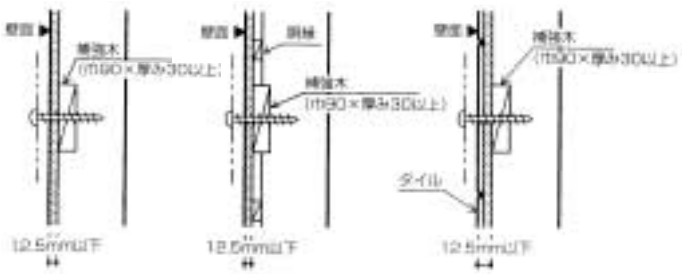
- キャビネットの取付壁面の不陸は5mm/2m以下であることを確認してください。（キャビネットを壁に当て、壁とのすき間が5mm以下であることを確認してください。）

⚠注意

この説明書に記載されている以外の壁仕様（ALC壁等）には、キャビネットを取り付けないでください。
※キャビネットの取付強度が保てず、落下する恐れがあります。必ず壁の施工をやり直してください。

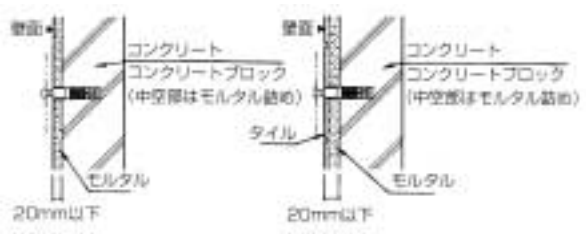
（1）乾式壁

●ボード類直張り　●ボード類胴縁取付け　●タイル仕上げ



（2）湿式壁

●モルタル仕上げ　●タイル仕上げ



※壁本体がコンクリートブロックの場合は、中空部はモルタル詰めしてください。

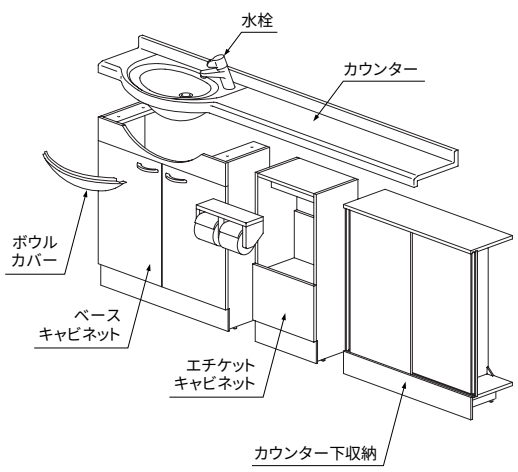
お願い

キャビネット取付壁面の不陸が5mm/2mを超える場合は施工しないでください。
※不陸があるまま施工するとキャビネットがひずむ場合があります。

施工方法

●乾式壁へのキャビネット固定には付属ねじをご使用ください。
●湿式壁へのキャビネット固定には別途手配のAYボルト KB-4×60T(AY)をご使用ください。カウンター固定用のブラケットはAY仕様のブラケットを別途手配してください。

●組立例



お願い

端のキャビネットが壁に接する場合は壁側より組立、設置してください。
■各キャビネットの設置・組立方法
①ベースキャビネットの設置は「1.ベースキャビネットの設置」をご覧ください。
②周辺キャビネットの設置は「2.周辺キャビネットの設置」の各キャビネットの設置方法をご覧ください。

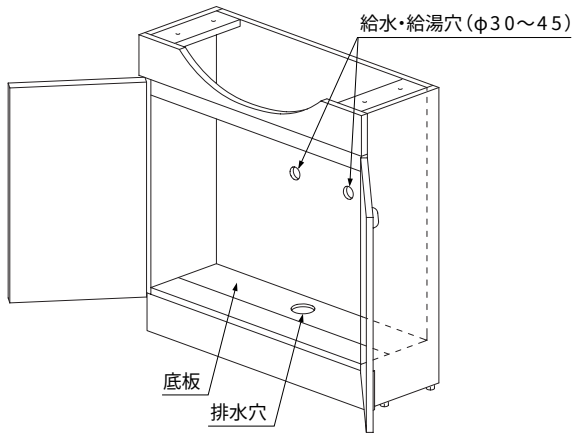
1. ベースキャビネットの設置

1）ベースキャビネットの給水管・排水管穴あけ

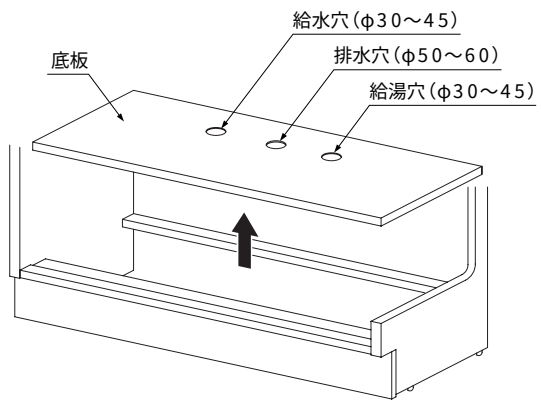
ベースキャビネットは、現場の給水・排水位置に合わせてφ32～45（給水）の穴または角穴を、φ50～60（排水）の穴または角穴をホールソーまたはカッターナイフ等であけます。

●底板は着脱式になっています。底板を取り出し、穴あけをしてください。

■壁給水の場合

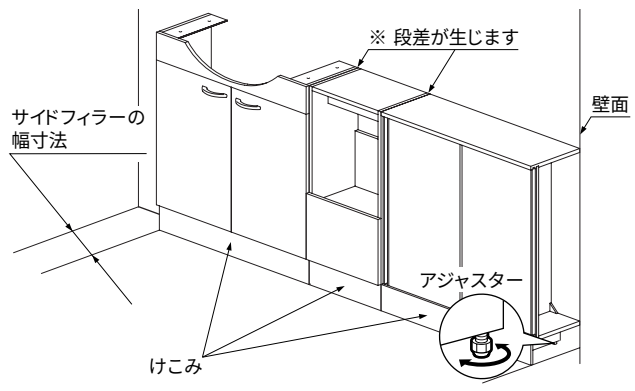


■床給水の場合



2）キャビネットの仮設置

キャビネットのレイアウトを確認し、仮設置します。
※床の水平が出ていない場合は、アジャスターで調整して水準器で確認しながら水平を出してください。水平になっていないと、扉に段差が生じます。



ワンポイント

●すべての周辺キャビネットを組み立てた上で仮設置してください。
●端のキャビネットが壁に接する場合は、壁面より設置してください。反対の端のキャビネットと壁面とのすき間は、サイドフィラー幅寸法となります。
●けこみの下面および前面がそろうように設置してください。
●キャビネットごとで全高が異なるため上面部には段差が生じます。

※各キャビネット高さ

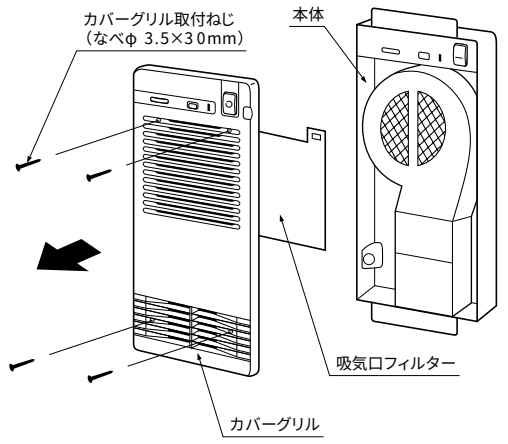
	ベースキャビネット	エチケットキャビネット	カウンター下収納	サイドベースキャビネット
高さ寸法(mm)	760	771.5	773	760

3）温風暖房機の取付け（温風暖房機付きベースキャビネットの場合）

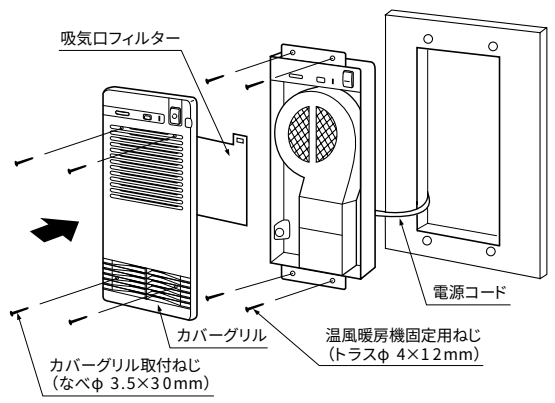
①カバーグリルの取り外し
上下 4ケ所のカバーグリル取付ねじをはずし、本体からカバーグリルを取り外します。

お願い

※カバーグリル取付ねじは、取付けの最後に使用しますので、なくさないでください。
※カバーグリルの裏側に吸気口フィルターがセットされています。最後に使用しますので、なくさないでください。



②温風暖房機の固定
扉裏面に電源コードを引き込み、本体を扉に取り付けて、上下4ケ所を付属のねじで固定します。
カバーグリルに吸気口フィルターをセットし直し、①ではずしたカバーグリル取付ねじ4本でカバーグリルを本体に固定します。

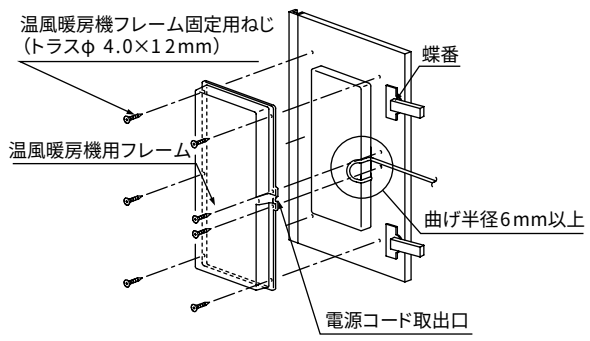


ワンポイント

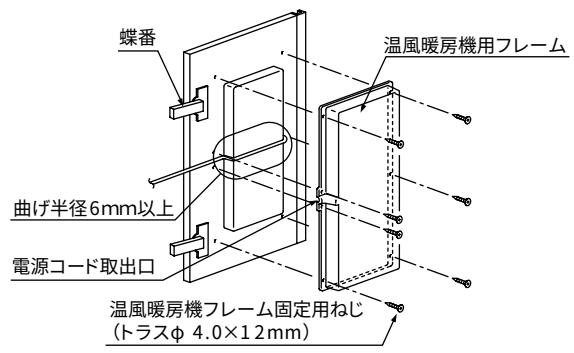
必ず吸気口フィルターを忘れずに施工してください。
※吸気口フィルターを忘れて施工すると、ほこりが吸気口にたまり、異常発熱する恐れがあります。

③温風暖房機用フレームの取付け
扉裏面に温風暖房機用フレームを取り付けます。
※蝶番側にフレームの電源コード取出口が向くように取り付けてください。
※電源コードはヒーター本体裏を取り回し、電源コード取出し口に差し込んでから7ケ所ねじで固定してください。

SAN-602AFL、752AFLの場合



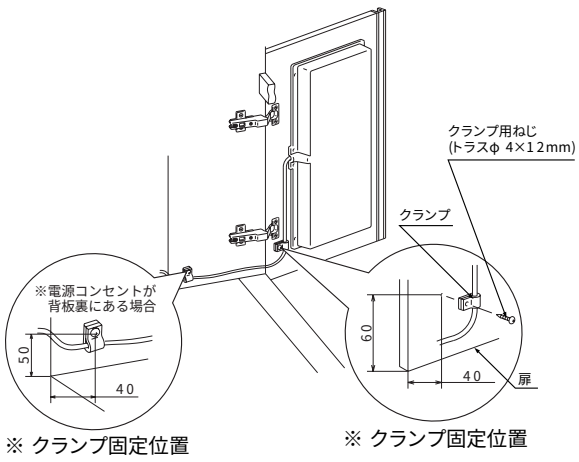
SAN-602AFR、752AFRの場合



お願い

電源コードを取り回す際には、曲げ半径を6mm以上確保して施工してください。

④ 電源コードの固定
クランプを使用し、扉裏面に電源コードを固定します。その後、下図のようにキャビネット内の背板部を電源コンセントに合わせて切り欠き、コードを接続します。
※ あらかじめ加工穴を施したキャビネットを注文されている場合は、その加工穴からコードを取り出し、キャビネット外のコンセントにコードを接続してください。
※ クランプは下記位置に取り付けてください。

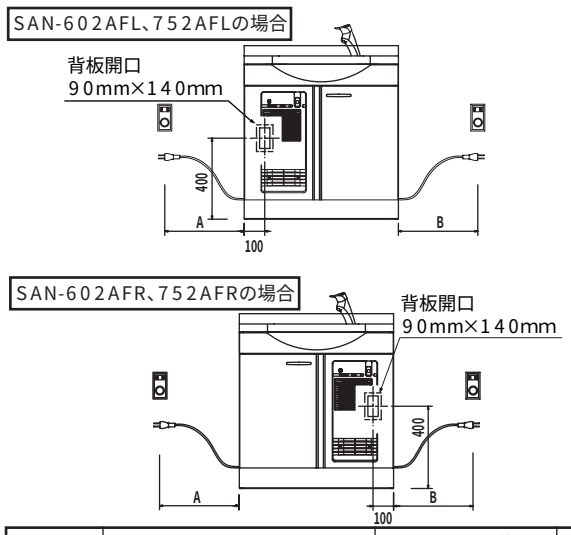


※ クランプ固定位置　　※ クランプ固定位置

⚠ コンセント使用についての警告

定格15A以上の専用回路を別途設け、単独で使用してください。
※他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

⑤ 電源コードの取出位置



シリーズ	品番		キャビネット外コード有効長さ ※1		コード長さ ※2
	ベースキャビネット	温風暖房機	A	B	
手洗アークタイプ	SAN-602AFL	HB-1201SN	1200	1050	2000
	SAN-602AFR		900	1050	
	SAN-752AFL		1200	900	
	SAN-752AFR		750	1050	

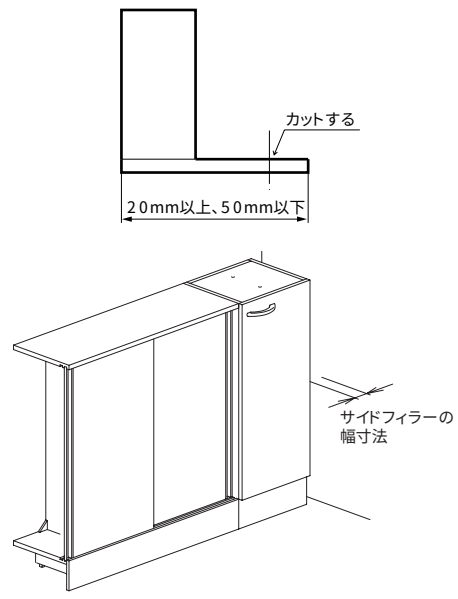
※1.コード有効長さ：キャビネットのサイドより外にコードを取出したときの実際のコード寸法です。
※2.コード長さ：温風暖房機本体からのコード寸法(全長)です。

⚠ 注意

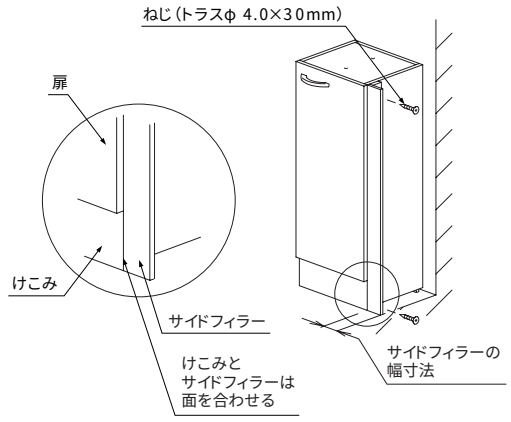
- **温風暖房機の設置には電源コンセントが必要です。電源コンセントは、あらかじめ電気工事登録業者に依頼して所定の位置（キャビネット内・外いずれか）に設けてください。(温風暖房機本体へ建築側配線を直結させることはできません。)**
- **電源コンセントには壁埋込み式、アースターミナル1口コンセント（第3種設置工事）を用い、ブレーカー(110V、15A)の設置された専用の回路からとってください。**
- **電源コンセントは温風暖房機専用とし、他の機器（電気温水器等）には別の電源コンセントを設けて接続してください。**
- **漏水遮断器は点検が必要ですので、キャビネット内に電源コンセントを設ける場合は電源コンセントの前に電気温水器等の設置は避けてください。**

4）サイドフィラー（SMF-5AB）の取付け（プラン上、サイドフィラーがある場合）

レイアウトによりサイドフィラーを取り付ける場合は、キャビネットの仮設置のときに切断寸法を確認し、すき間寸法に合わせてサイドフィラーをカッターナイフ等でカットします。



サイドフィラーは、キャビネット外側よりねじ（トラスφ4.0×30mm）にて固定します。



5）キャビネットの壁固定

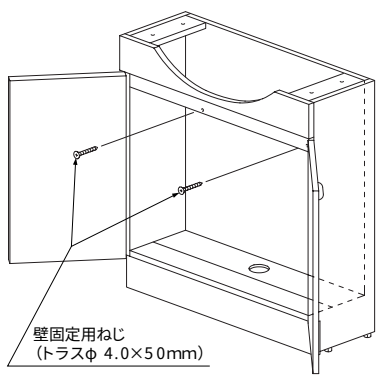
〔乾式壁の場合〕
① 扉を開きます。
② 付属のねじでキャビネット背板のねじ穴から壁面に固定します。(左右2ケ所)

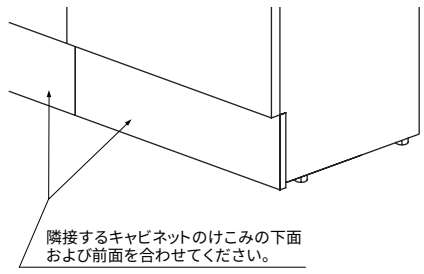
〔湿式壁の場合〕
① AYボルトの位置を確認し、位置出しをします。
② 壁にφ7.5の下穴をあけ、切粉をよく取り除きます。
※ 下穴は電動ドリルを使用し正確にあけてください。
③ AYボルトを挿入し、ゴム筒を押さえてボルトを抜き取ります。
④ キャビネットを壁面に当て、キャビネット背板のねじ穴から壁面にボルトで固定します。

ワンポイント

- **キャビネットを壁に固定する際、扉がじゃまになるときは、扉を外すこともできます。**
- **キャビネットの扉の着脱方法は、後述の「扉の取付方法」「扉の取外し方法」をご覧ください。**
- **ねじ固定後は、必ず扉を取り付けてください。**

※仮設置した各キャビネットの内側より、壁固定用ねじ（トラスφ4.0×50mm）で壁に固定します。

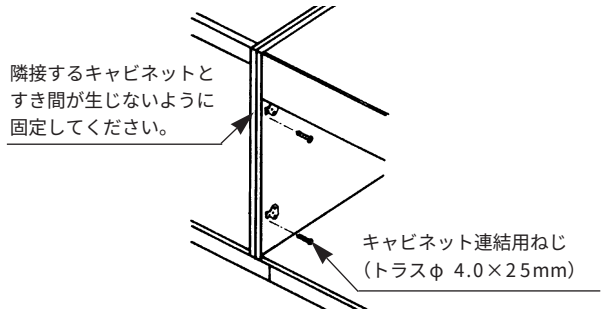




※ キャビネットの上面には段差が生じます。

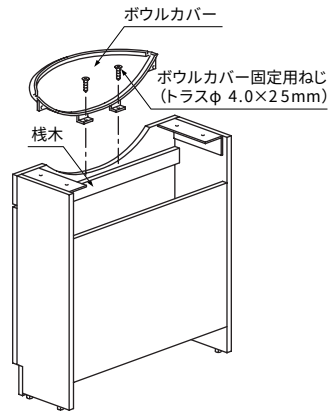
6）キャビネットの連結（プラン上サイドベースがある場合）

隣接するキャビネットとすき間が生じる場合はねじ（トラスφ4.0×25mm）で連結します。(蝶番の下方、上下2ヶ所)
※ カウンター下収納とは連結できません。



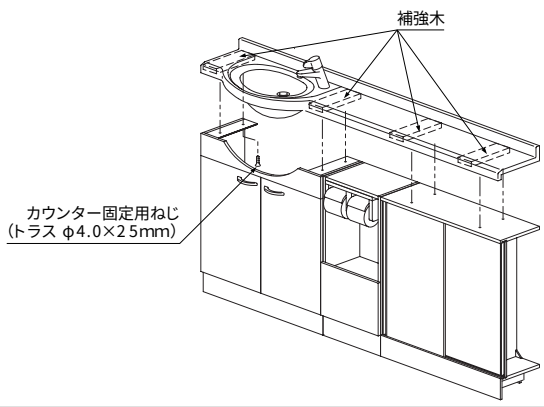
7）ボウルカバーの取付け

1. ボウルカバーを幕板にはめ込みます。
2. ボウルカバーが水平に設置されていることを確かめてから、ボウルカバー固定用ねじ（トラス φ4.0×12mm）でキャビネット内側の桟木に固定します。



8）カウンターとキャビネットの固定

1. カウンターを設置し、キャビネットとの納まりおよびカウンター高さおよび水平を確認します。
2. カウンターを付属のカウンター固定用ねじ（トラス φ4.0×25mm）で固定します。



ワンポイント

インテリアリモコンを取り付けている場合はインテリアリモコン本体を取り外してからカウンターを設置してください。

お願い

- **カウンターを固定する前に、その他周辺キャビネットの設置をご覧いただき、設置を行ってください。**
- **水栓金具は向きを排水芯の穴に合わせて取り付けてください。**
- **カウンターの設置は周辺キャビネットを固定後に行ってください。**

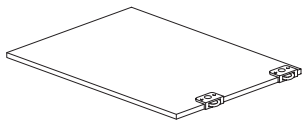
※ 水栓金具・止水栓の取付けについては、「9.水栓金具・止水栓の取付け」をご覧ください。

2. 周辺キャビネットの設置

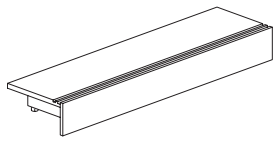
1）カウンター下収納の設置

■付属部品（品番：SAH-1052AH、SAP-752A、SAP-902A）

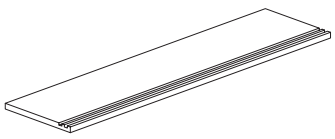
●扉…2枚



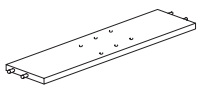
●架台…1台



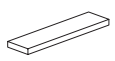
●天板…1枚



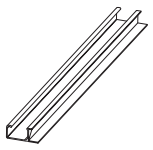
●中仕切板…2枚



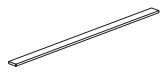
●棚板…1枚



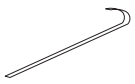
●取っ手…2本



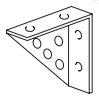
●取っ手用スペーサー…2枚
※扉厚15mm以外の場合（クリアベージュ（B4C）、クリアホワイト（G4C）、クリアブルー（K4C）以外）に使用。



●両面テープ…2枚
※扉厚15mm以外の場合（クリアベージュ（B4C）、クリアホワイト（G4C）、クリアブルー（K4C）以外）に使用。



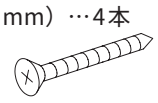
●固定金具…4個



●ワッシャー…6枚

●すべり鋲…2個

●組立用ねじ（皿φ 3.5×25mm）…4本

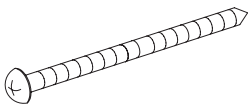


●棚受けダボ…4本

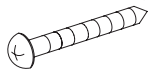
●固定金具用ねじ（トラスφ 4.0×12mm）…16本

●取っ手用ねじ（皿φ 3.5×12mm）…8本

●壁固定用ねじ（トラスφ 4.0×50mm）…4本



●カウンター固定用ねじ（トラスφ 4.0×25mm）…4本

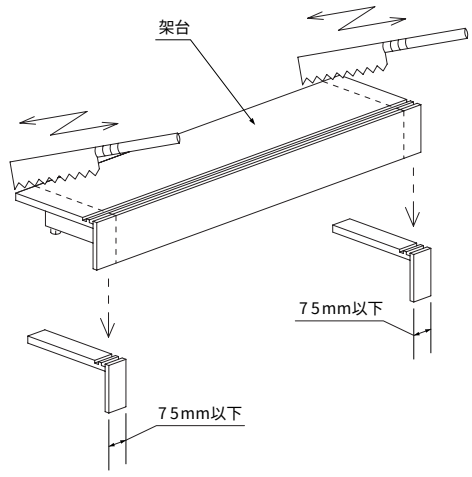


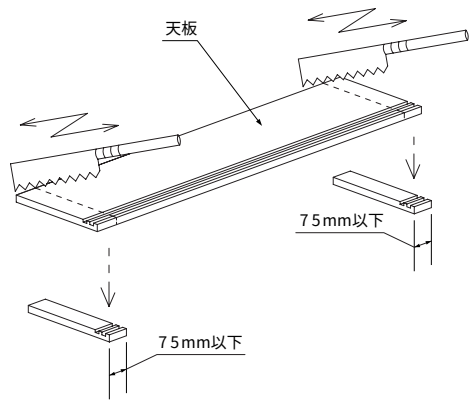
■施工方法

①現場にてカウンター下収納の間口調整をする場合は、下図を参考に架台、天板の両端面を均等に切断してください。

片側切断寸法算出式

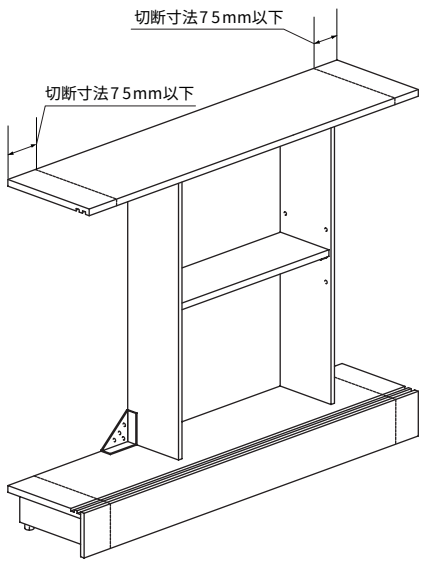
片側切断寸法(mm) ＝ 間口調整寸法÷2
＝ {架台（天板）間口(mm)
－納まり間口(mm)}÷2





お願い

切断する際は、必ず両端を均等に切断してください。両端を均等に切断しないとキャビネットの構造上、設置が不可能になります。



お願い

150mm（片側75mm）以上切断しないでください。
片側75mm以上切断すると、収納スペースがなくなります。

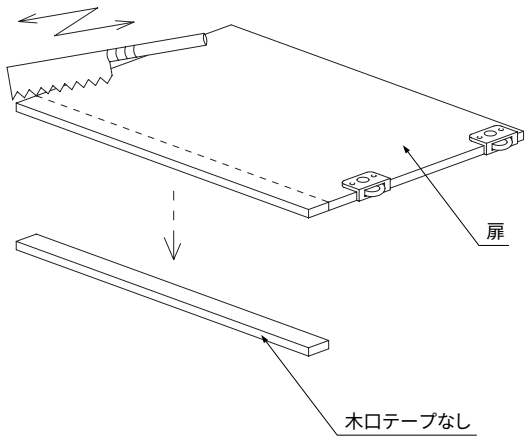
⚠ 注意

切断する際には十分気を付けてください。
ケガをする恐れがあります。

②間口のサイズに合わせて、2枚の扉を切断します。
※切断する面は木口テープが貼っていない面を切断してください。

扉切断寸法算出式

扉切断寸法(mm) ＝ 架台片側切断寸法(mm)
＝ 天板片側切断寸法(mm)



お願い

切断面は必ず木口テープが貼られていない面を切断してください。逆方向を切断すると組み立てた際に見栄え上の不具合、変色、変形の原因となります。

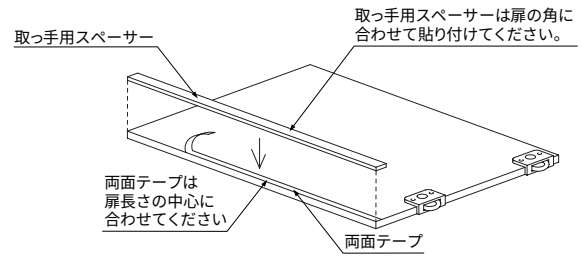
⚠ 注意

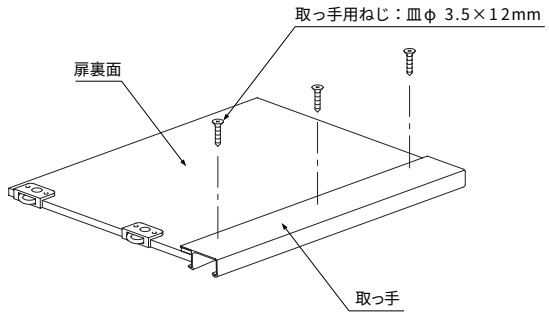
切断する際には十分気を付けてください。
ケガをする恐れがあります。

③取っ手の取付け
扉に取っ手を下図のように取付けます。
※ねじで固定する前にφ2mmの下穴をあけてください。
※取っ手は切断面（または木口テープのない面）が隠れるように取り付けてください。
※取っ手は扉の下面にあわせて取り付けてください。

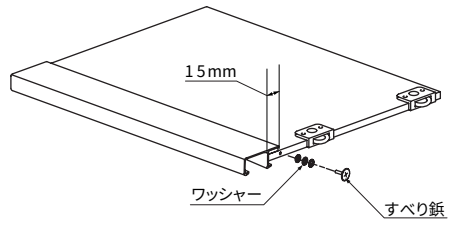
扉厚15mm以外の場合
（クリアベージュ（B4C）、クリアホワイト（G4C）、クリアブルー（K4C）以外）

扉裏面の切断側（または木口テープのない側）に両面テープおよび取っ手用スペーサーを下図のように合わせて貼り付けてください。その後、取っ手を取り付けてください。





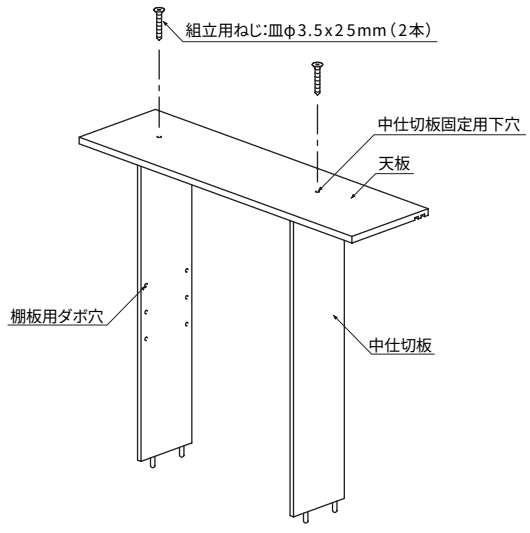
④ すべり鋲の取付け
扉を切断しない場合、および扉1枚当たりの切断寸法が50mm以下の場合、下図のようにすべり鋲を取り付けます。
※切断後の扉の取っ手側から15mm、扉厚の中心の位置にφ3、深さ10mmの下穴をあけてください。
※その後に、3枚のワッシャーをかませた後、すべり鋲を差し込んでください。
※ローラーの高さと合わない場合は、ワッシャーの枚数を調整し、ローラーを調整し、取り付けてください。



⚠ 注意

扉1枚当たりの切断寸法が50mm以下の場合に、すべり鋲を取り付けないと、引き戸扉のガタツキの原因になる恐れがあります。

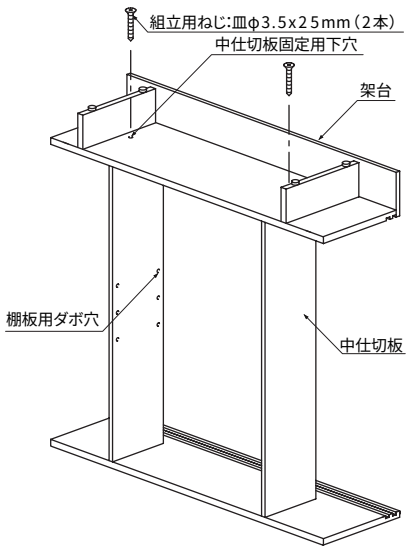
⑤ 天板と中仕切板の固定
天板のダボ穴に中仕切板のダボを差し込んで仮固定します。その後、天板の上面から組立用ねじで中仕切板を固定します。
※天板上面から中仕切板固定用下穴に合わせて組立用ねじで固定してください。



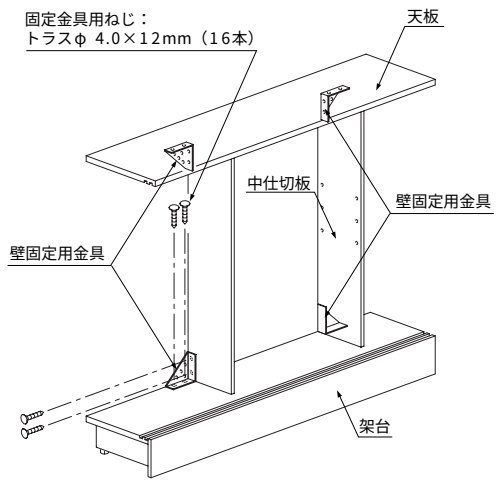
ワンポイント

必ず棚板用ダボ穴がキャビネットの内側になるように取り付けてください。

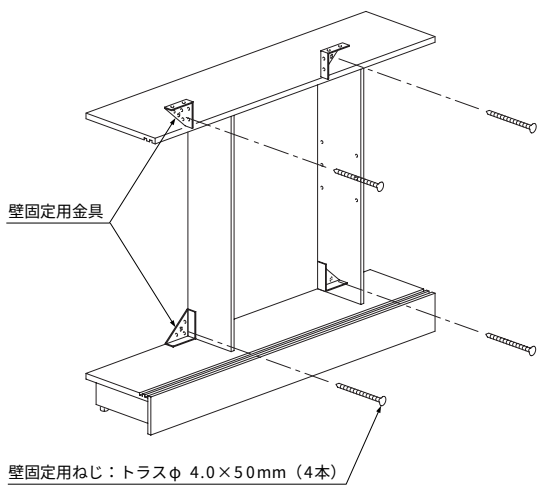
⑥架台の固定
架台のダボ穴に中仕切板のダボを差し込み仮固定します。
その後、架台の底から組立用ねじで中仕切板を固定します。
※ 底板裏側から中仕切固定用下穴に合わせて組立用ねじで固定してください。



⑦壁固定用金具の取付け
天板、中仕切板、架台に壁固定用金具を下図のように上下4ケ所取付けます。
※天板、中仕切板、架台の下穴に合わせて壁固定用金具を固定金具用ねじで取付けてください。

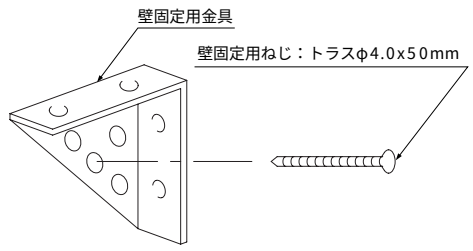


⑧カウンター下収納の固定
カウンター下収納を付属の壁固定用ねじで壁に固定します。
※固定金具のねじ用穴から壁に4ヶ所ねじで固定してください。



施工用ねじの取付け位置

壁固定用の施工ねじは、下図のように三角面外側の中心の穴にて固定してください。

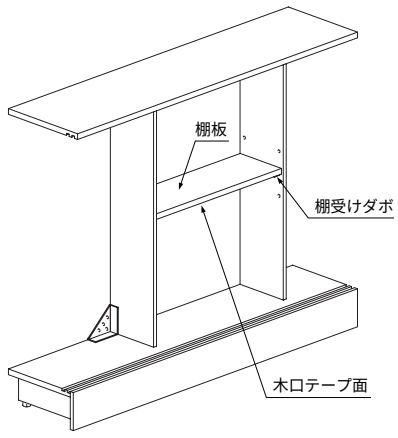


注意

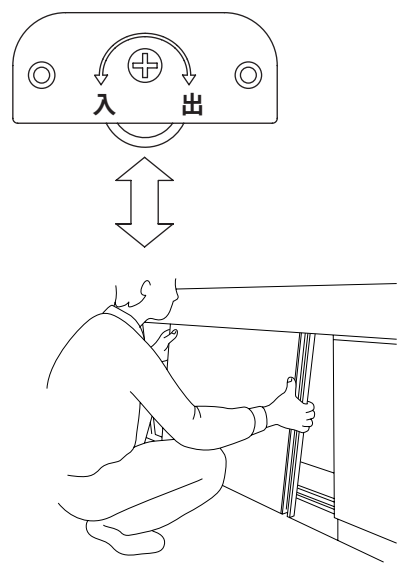
カウンター下収納は、必ず両端が他のキャビネット、または壁になるように設置してください。両端が隠れていないと、横から内部が見えてしまいます。

⑨ カウンター下収納の高さ調整
床の水平が出ていない場合は、架台の底面に接続してあるアジャスターで調整し、水準器で確認しながら水平を出してください。
※他のキャビネットと組み合わせる場合は、けこみの下面および前面を合わせてください。

⑩ 棚板の取付け
棚受けダボを中仕切板の棚受けダボ穴に4本挿入し、棚板を取り付けます。
※棚板を取り付ける際は木口テープ面を正面にして取り付けてください。



⑪ 扉の取付け
扉のスライドローラーねじ部をドライバーで回し高さ調整してから、下図のように扉を取り付けます。



ワンポイント

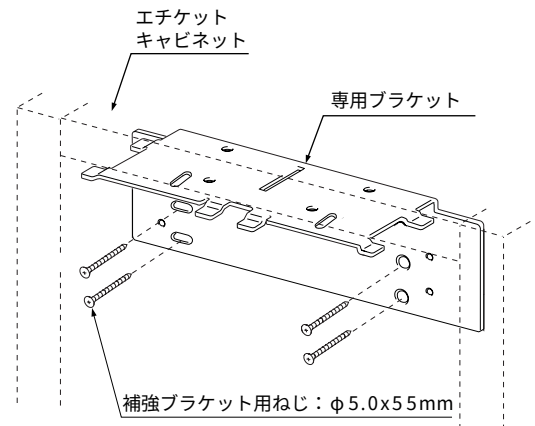
扉を取り付ける際はベースキャビネット側の扉を前面に取り付けてください。

お願い

スライドローラーがレールにはまっているか確認してください。扉が落下しケガをする恐れがあります。
スライドローラーのねじ部は回しすぎないでください。回しすぎるとスライドローラーのねじがはずれて調整がきかなくなる恐れがあります。

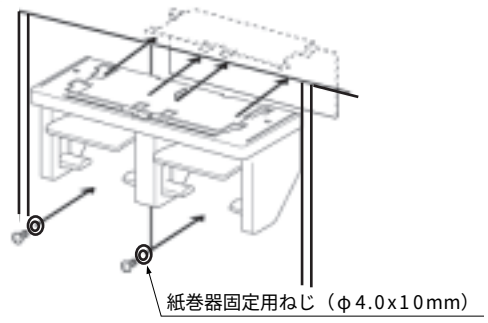
2）エチケットキャビネットの設置

①紙巻器用ブラケットの固定
専用ブラケットがエチケットキャビネットの中心になるように、補強ブラケット用ねじ（4本　皿φ5×55mm）で壁側へ固定します。

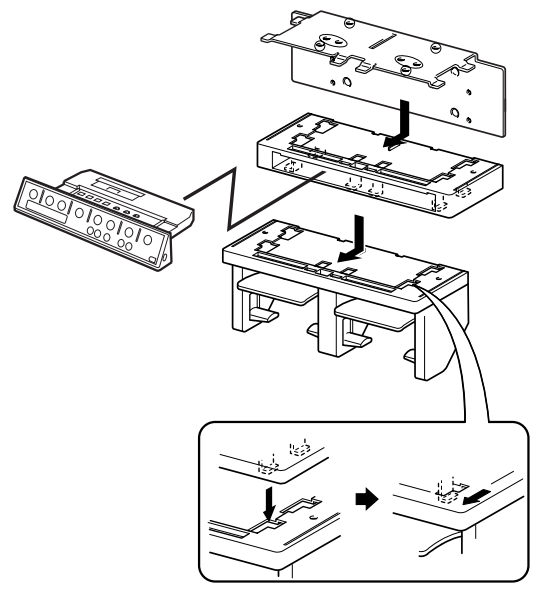


※紙巻器に同梱されているねじ（皿φ4.0×20mm4本）は使用しません。

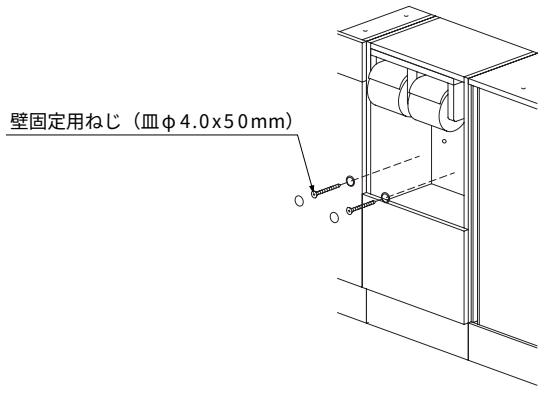
② 紙巻器の装着
固定したブラケットに紙巻器をスライドさせながら下図のように装着し、紙巻器とブラケットを紙巻器固定用ねじ（M4×10mm）で固定します。
※ インテリアリモコンと組み合わせる場合は、先にインテリアリモコンを装着してください。装着方法は「インテリアリモコンとの組合わせ方」を参照してください。



■インテリアリモコンとの組合わせ方
※ インテリアリモコンと組み合わせる場合は、紙巻器を取り付ける前に下図のようにインテリアリモコンを装着してください。



③エチケットキャビネットの固定
エチケットキャビネットを付属の壁固定用ねじ（皿φ4.0×50mm）で固定します。



3）ミドルキャビネットの取付け
（ミドルキャビネット使用の場合）

●ミドルキャビネットの取付けは、ミドルキャビネットの施工説明書をご覧ください。

4）アッパーキャビネットの取付け
（アッパーキャビネット使用の場合）

●アッパーキャビネットの取付けは、アッパーキャビネットの施工説明書をご覧ください。

3. ブラケットの取付け（ブラケットを用いる場合、マーベリイナカウンターの場合）

1）ブラケットの位置決め

カウンターの反り、たわみ等を防止するため、次の事項を必ず守って取り付けてください。

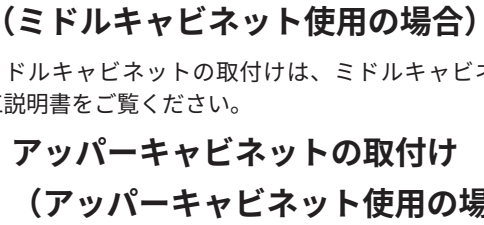
①ブラケット取付間隔

カウンターの要支持箇所に補強木を接着していますので、この位置をブラケットの取付位置とします。

MB-350A

※MB-350Aは片側ブラケットのみ対応で、カウンターの端面から250mm以内の位置に取り付けてください。

MB-351A

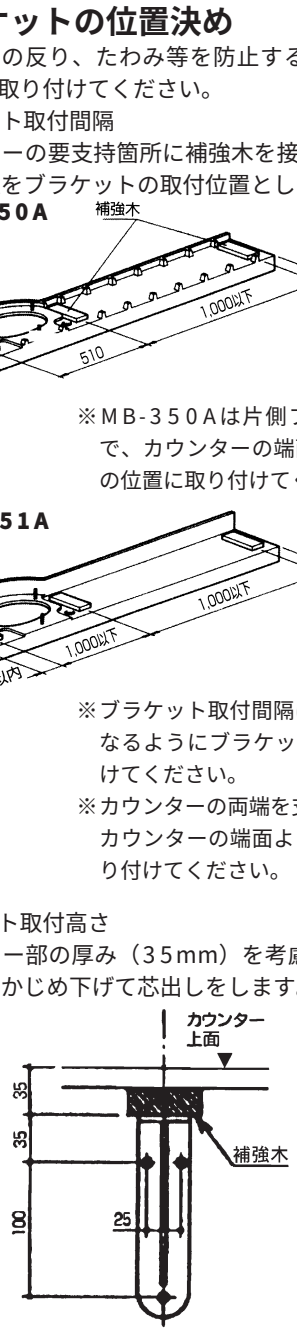


※ブラケット取付間隔は1,000mm以下になるようにブラケットを追加して取り付けてください。

※カウンターの両端を支えるブラケットは、カウンターの端面より250mm以内に取り付けてください。

②ブラケット取付高さ

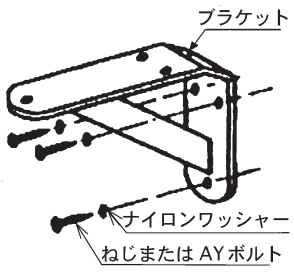
カウンター部の厚み（35mm）を考慮し、ブラケット上面をあらかじめ下げて芯出しをします。



2）ブラケット取付け

①ブラケットを壁に固定します。

壁に付属のねじまたは付属のAYボルト（壁下穴φ11mm）で強固に固定します。

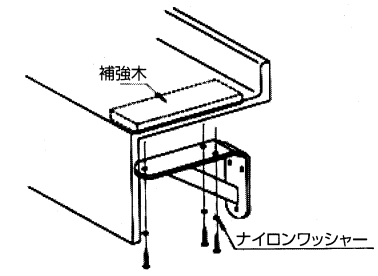


※AYボルトの場合はAY仕様のブラケットを手配してください。

※ブラケットとねじの間にナイロンワッシャー（付属部品）を入れて固定してください。

②カウンターを固定します。

カウンターをブラケットに乗せ、付属の固定用ねじで固定します。



※ブラケットとねじの間にナイロンワッシャー（付属部品）を入れて固定してください。

4. インテリアリモコンの取り付け（補強木の施工、カウンターに直接設置する場合）

エチケットキャビネットとは別にカウンターに直接インテリアリモコンを取り付ける場合は、カウンターに補強木を取り付けてからインテリアリモコンを設置してください。

■施工する前に

●カウンターがしっかり施工されていることを確認してください。

●カウンターの裏に補強木が貼り付けてあることを確認してください。

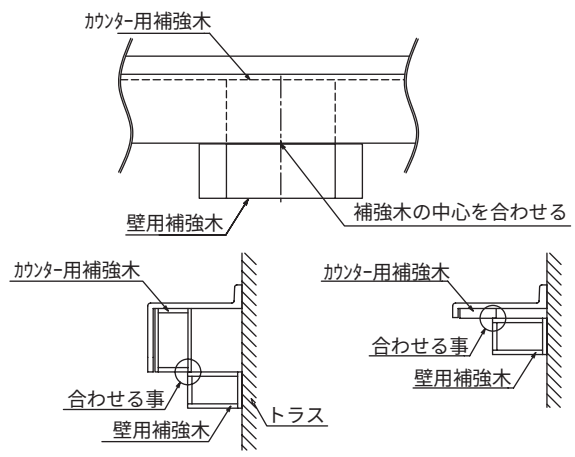
●部材内容を確認してください。

●二連紙巻器（CF-62HDR-MB：別途手配）取付専用の仕様です。

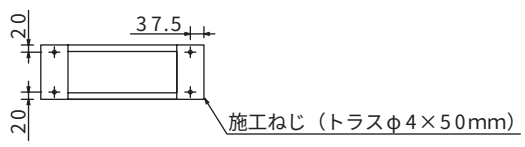
	部品名	サイズ	数量	備考
①	補強木	300×100×150	1個	壁用(350A,、351A)
②	同梱ねじセット	4×50mm−4本	1セット	壁固定用(350A、351A)

■施工手順

①壁用補強木の中心をカウンター用補強木の中心に合わせて位置出しします。



②壁用補強木を施工ねじ（トラスφ 4×50mm）で壁に固定

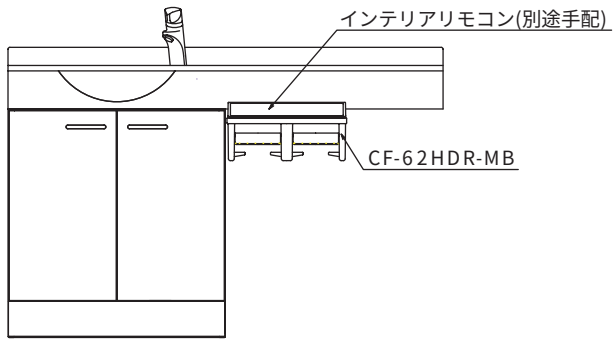


③補強木にブラケットを固定し、リモコン、紙巻器を固定してください。（詳しくは、紙巻器の施工説明書を参照してください。）

■施工後の確認

●リモコン、紙巻器にガタツキがないか、確認してください。

●部材が余っていないか、確認してください。



5. フロントパネルの取付け（フロントパネル使用の場合）

●フロントパネルの取付けは、フロントパネルの施工説明書をご覧ください。

6. マーベリイナシェルフの取付け（マーベリイナシェルフ使用の場合）

●マーベリイナシェルフの取付けは、マーベリイナシェルフの施工説明書をご覧ください。

7. 化粧鏡の取付け（化粧鏡使用の場合）

●化粧鏡の取付けは、化粧鏡の施工説明書をご覧ください。

8. 照明の取付け（照明使用の場合）

●照明の取付けは、照明の施工説明書をご覧ください。

9. 水栓金具・止水栓の取付け

1）水栓金具の取付け

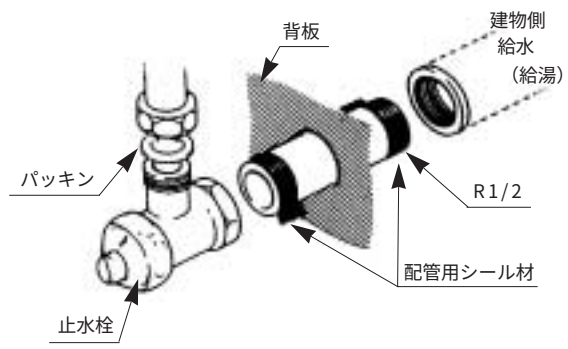
水栓金具の取付けは、水栓金具の施工説明書をご覧ください。

2）止水栓の取付け

止水栓はメンテナンスのため、取り付けてください。

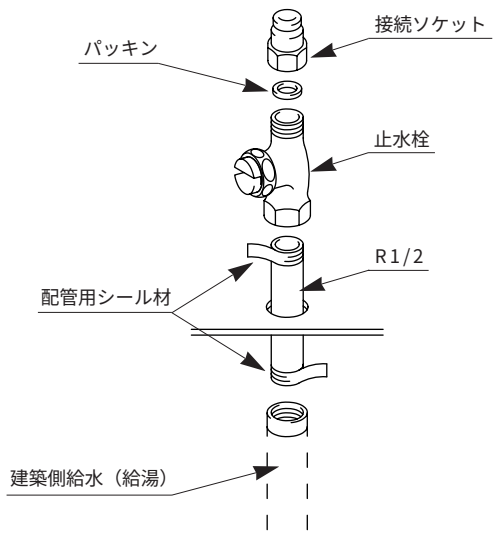
■壁給水の場合

（例）LF-3K-MB



■床給水の場合

（例）LF-3SDK(410)-MB2



■自動水栓（品番：AM-68(100V)-MB、AM-68N(100V)-MB）ご使用の場合

自動水栓をご使用の場合は、水量を調節してください。吐水量の調節は止水栓を操作して行ってください。

お願い

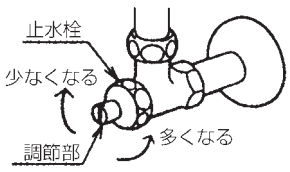
止水栓を閉めるときは何回回したかを記録してください。
止水栓を元の位置に戻すときに必要になります。
※元の位置に戻しておかないと施工時に設定が変わり、手洗器から水があふれる恐れがあります。

水栓金具のハンドルを水側いっぱいまで回して吐水し、止水栓の調節部をマイナスドライバーで回して4～6Ｌ／分に調節します。

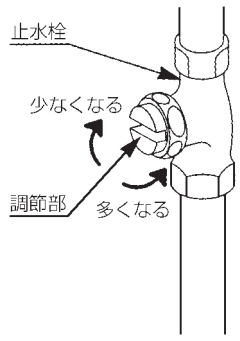
ワンポイント

吐水量の目安は、自動水栓を吐水した際に泡沫吐水になるときが、4～6Ｌ／分となります。または自動水栓を手洗器内の排水口に向けた際、排水口に吐水がちょうど届くときが、4～6Ｌ／分となります。

●壁給水仕様



●床給水仕様



止水栓の操作

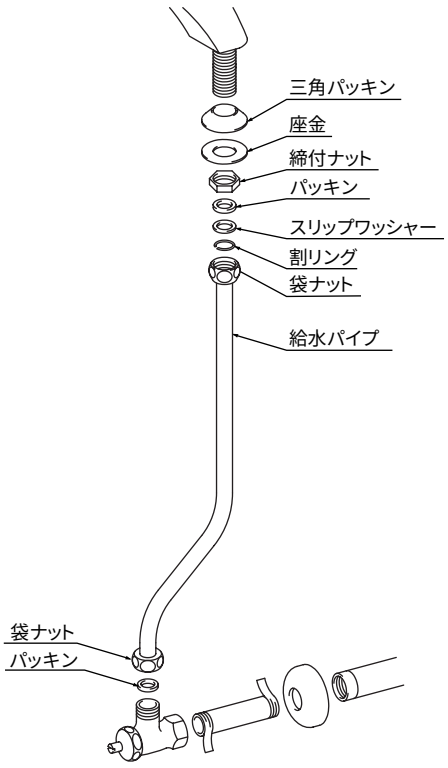
水量を多くする	調節部を左に回す
水量を少なくする	調節部を右に回す
閉める	調節部を右にいっぱい回す

10. 給排水の接続

1）給水・給湯管の接続

■水栓金具が給水パイプ仕様の場合

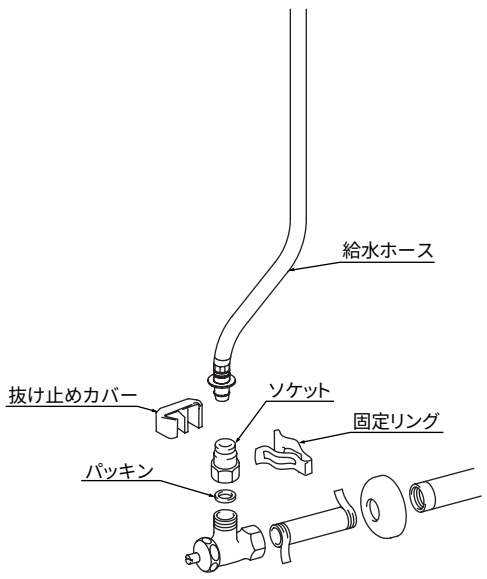
（例）LF-47



※マーベリイナカウンターはハンドル式止水栓になります。
※ 床給水の場合も同様の接続をしてください。

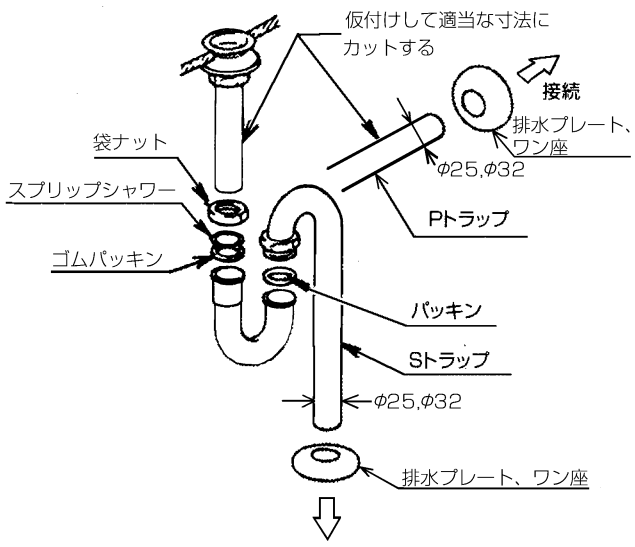
■水栓金具が給水ホース仕様の場合

（例）LF-503



※マーベリイナカウンターはハンドル式止水栓になります。
※ 床給水の場合も同様の接続をしてください。

2）排水トラップの接続



※排水径：システムマーベリイナの場合はφ32で排水プレート仕様になります。
マーベリイナカウンターの場合はφ25でワン座仕様になります。

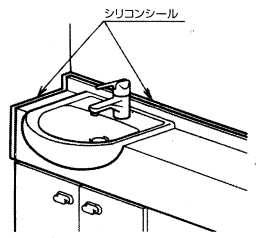
⚠ 注意

ナット類は手でしっかりと締め付けてください。
※締付けが不十分だと漏水を引きおこす恐れがあります。

※各接続部からの水漏れのないことを確認してください。

11. カウンター周囲のシール

カウンターが壁に接する面はシール材でシールしてください。
※接合部にはマスキングテープをしてシーリングしてください。



施工後の確認

■キャビネット本体の確認

（1）キャビネットの取付ねじが十分に締まっているか、ゆるみがないことを確認します。
（2）キャビネット自体にガタツキ、壁とキャビネットのすき間がないことを確認します。
（3）ねじのゆるみ、キャビネットのガタツキがある場合は、必ずねじ位置を変えて取付け直します。
（4）スライドローラーがきちんとレールにはまっているか、動作確認をします。。
（5）扉のふぞろいがある場合は、後述の「扉の調節（軸吊り蝶番 KT-181N)」「扉の調節（スライド蝶番 MT-110F)」で調節します。

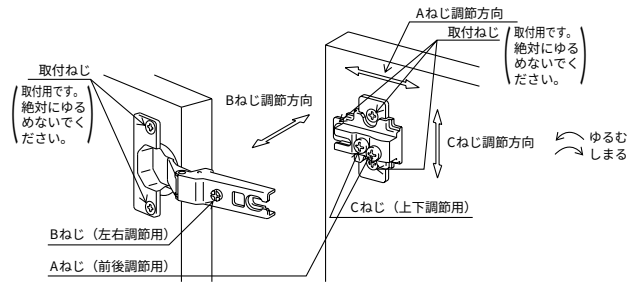
■運転の確認

（1）取付け作業が終了したら、お客さま立合いのうえで、「取付け作業確認証」にあるチェック項目を確認してください。

■吐水量、排水量の確認

（1）水栓金具の吐水を全開にしたとき、手洗器から水があふれないよう水側、湯側の止水栓の開閉をして流量の調節をします。
（2）水栓金具の吐水を全開にしたまま排水し、トラップ、排水管の各接続部からの水漏れがないことを確認します。

扉の調節（スライド蝶番）



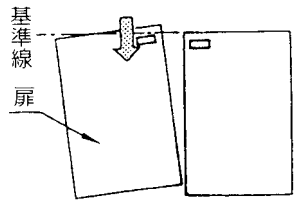
⚠ 注意

調節後は必ず、Aねじ、Cねじ、取付ねじが固く締め付けられていることを確認してください。
※締付けが不足しますと蝶番がゆるみ、扉の外れ、落下によりケガをする恐れがあります。

各ねじの調整量
Aねじ.....前方向2.5mm、後方向1.5mm
Bねじ.....右へ回す→手前へ4mm、
左へ回す→後方へ1mm
Cねじ.....上方向1.5mm、下方向1.5mm

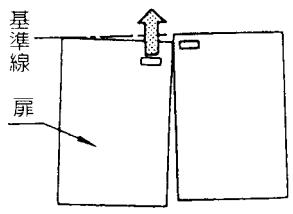
●扉の先端が上がっているとき

①扉上方の蝶番のBねじを右へ回して調節します。または扉下方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。
②扉を閉めて確認します。
③正しい位置になるまで①、②を繰り返します。



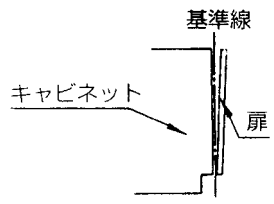
●扉の先端が下がっているとき

①扉上方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。または扉下方の蝶番のBねじを右へ回して調節します。
②扉を閉めて確認します。
③正しい位置になるまで①、②を繰り返します。



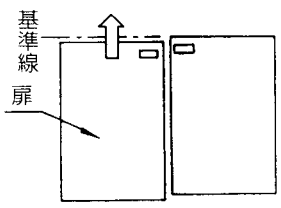
●扉と側板のすき間が上下異なるとき

①扉上方の蝶番のAねじを左へ回してゆるめ、扉を動かして前後の正しい位置にします。
②正しい位置でAねじを右へ回して締め付けます。



●扉の位置が上下異なるとき

①扉の上下の蝶番のCねじを左へ回してゆるめ、扉を上下させて正しい位置にします。
②正しい位置でCねじを右へ回して締め付けます。



ワンポイント

●Aねじ、Bねじ、Cねじは扉を取り付けたままで調節できます。
●2枚扉（両開き）の場合で、片方の扉だけで調節できないときは、左右の扉で交互に調節を行ってください。